平成 20	0年度 指定管理者施設管理評価			平価シート	部区	民部 課 児童	童保育サービス課						
施設名	松が	谷児童	館	指定管理	理者の名称 社会福祉法人 台東区社会福祉								
1. 指定管理者の概要													
①業務内容		台東区社会福祉事業団は、昭和61年10月に設立。区立の児童館・こどもクラブおよ び高齢者福祉施設の管理・運営を受託している。											
②類似施設の 管理実績		児童部門:児童館7館、13こどもクラブ 高齢者部門:特別養護老人ホーム、老人保健施設、老人福祉センター等の運営											
③経営状況		(19年度決算ベース) [社会福祉事業会計]収入 2,401,341,470 円,支出 2,355,808,519 円,収支差額 45,532,951 円 [公益事業特別会計]収入 361,979,008 円,支出 340,218,519 円,収支差額 21,760,489 円											
2. 施設の概要													
①所在地]	台東区松が谷4-15-11											
②設置目的		児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。											
③利用者	Ī	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。											
④開館日・ 開館時間		月曜日から土曜日:9時30分~18時 日曜日(第3日曜日を除く)は一部開放 9時30分~18時 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)											
⑤規模		RC4階建て 3,4階 図書室・遊戯室・図工室・クラブ室・集会室等 松が谷保育園併設											
⑥人員体	制	常勤職員3人、短時間職員5人											
3. 事刻	業(サ-	-ビス排	 是供)の概要										
①委託事業		①児童の福祉を目的とする事業 ②児童館の利用をとおして児童の情操の育成に資する事業 ③健全な遊びをとおして児童の集団的及び個別的指導を行なうこと ④その他、児童館の目的達成のために必要な事業											
②自主事業 ①パパと遊ぼう ②小学生と高齢者との交流事業													
4. 施記	受の稼動	力状況等	· 等										
松が谷児	童館利	用状況											
年度 開館			総数	幼 児	小学生	: 中高生	大人						
1 7		3 3 4	42, 315	7, 658	22, 49		9, 735						
18		3 3 2	43,721	6, 936	23, 86	0 2, 581	10,344						
19	1 9		39, 544	5, 344	22, 53	3 2, 891	8, 776						
5. 予算決算の推移 (単位:円)													
年	度		17年度	18年度	19年度	2 0 年度	2 1 年度						
	委 託	料	39, 282, 000	33, 002, 000	37, 556, 00	38, 030, 000)						
予 算	料金収		0	0		0 ()						

33, 002, 000

31, 808, 753

31, 808, 753

0

38, 030, 000

37, 556, 000

33, 358, 562

33, 358, 562

0

管理経費

委 託 料

料金収入等

管理経費

収 支

決 算

39, 282, 000

33, 856, 569

33, 856, 569

0

0

		期待どおりの成果 改善が必要である								
評価の観点	. 計劃刈水	<u> </u>	価	項	目					
①事業の運営 平均 [2.2]	(1)施設の目 (2)サービス (3)職員配置 (4)職員研修 (5)案内・接	水準	[3] [3] [2] [2] [2]	(7)自主事 (8)個人情 (9)緊急時	間等の遵守 業の成果 報保護 対応マニュアル ・防犯体制	[2] [2] [2] [2] [2]				
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1)建物保守 (2)備品の管 (3)清掃・衛 (4)施設の修	生管理	[2] [2] [2]	(6)管理記 (7)業務委	i所等の確認 記録の作成・保存 ≅託の事前承認 ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]				
③利用者の満足度 平均[2.4]		第三者機関の評価 望への対応と報告 の目標達成			やすい環境整備 体・地域との関わり	[2] [2]				
④歳入歳出 平均[2.0]	(1)適正な予算執行 (2)経費縮減のための取組み		[2] [2]		·画の達成 等の徴収・管理	[2] [-]				
7. 評価 A+ (良好):協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当):協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり):協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善):協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。										
評価の観点	評価		説		明					
①事業の運営	A+	区内の中心部に近く利用者が多いため、施設内だけでなく近隣の公園 や他の区施設を利用して、子育て世代の要望に応えた活動を展開して いる。								
②施設の維持管理	А	施設については、日常の清掃や安全管理に努めており施設管理も記録されている。								
③利用者の満足度	A+	とで信頼を得てい	いる。また、	先駆的な消	、きめ細かい見守りを 舌動を行い、子ども遺 るため、利用者が多い	室の成長に				
④歳入歳出	Α	指定管理者とし、 効率性の向上にな			草に努力しており、経	費の削減、				
⑤総合評価	A+		者と連携し	た子育て世	こ比べて利用者が多い 代の拠点となっており ている。					

6. 評価項目 (3: 期待以上の成果が見られる。

8. 課題への対応等

18年度まで中高生タイムを試行していたため、中高生の利用も多い。そのため、個別な対応が必要なケースも増えており、職員のスキルアップ研修を増やしたりして、トラブルなどの緊急時に迅速な対応ができるよう努めていく。